

# 感染対策院内研修会

- 手指衛生の重要性と実践 -

開催日時：2019年6月18日(火)・6月26日(水)

参加者：全職員対象

## 研修内容

【講演】

「手指衛生の重要性と実践」

サラヤ株式会社 嶺尾 宣明氏

【実技】

「ハンドチェッカーを使用した手洗いの実践」

職員全員で実施



## 感染対策の基本



「日常の業務や生活に活かす」

手指衛生の基本と実践

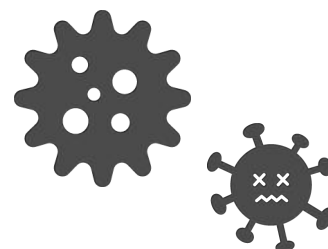
- ✓ 手洗い : 石けん&流水
- ✓ 手指消毒 : アルコール
- ✓ ハンドケア : 保湿(手荒れ防止により遵守率低下を防ぐ)

- 手指衛生の重要性は感染環境学会などでも議論されている。
- MRSA 感染症は毎日 157 人、年間 57,305 人が罹患している。

## 感染の実際と経路

- ① 接触感染：直接触れることで広がる
- ② 空気感染：空気中に浮遊し広がる
- ③ その他

感染経路は様々であるが、  
「手洗い不足」による手を媒体とした感染が7~8割を締めている。  
※これからの時期は感染力の強いノロウイルスに要注意！！



今回は、日常業務の中で感染対策の基本を有効に実践できるように、手指衛生についての講義および実技が行われました。手を媒体とした感染は、病院内のみならず、家や外出先のドアノブやスイッチ類などからも感染すると言われていています。また、汚れの中にも“見える”ものと“見えない”ものがあります。見える汚れは「石けん&流水」、見えないものは「アルコールによる手指消毒」、このダブルパンチを有効的に利用し、今後も病院全体で衛生環境の保持に取り組みたいと思います。